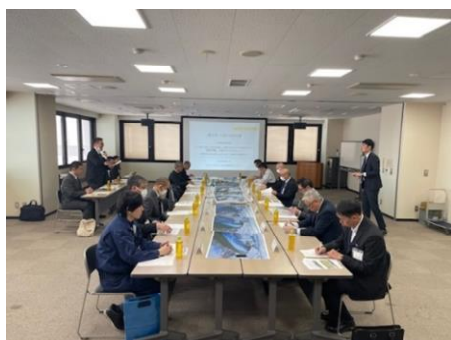


第 46 回 夕張川流域会議 議事要旨

日時：2025 年 3 月 17 日（月）13：30～15：30

場所：南幌町ふるさと物産館「ビューロー」



<議題>

1. 河川環境、河川利用に配慮した川づくりについて
 - ・今年度の工事実施報告（清幌床止、ショウドウツバメ）
 - ・今年度の夕張川の魚類調査結果
2. 地域団体との連携について
 - ・今年度の河川利用状況と課題について
 - ・河川樹木の公募による伐採利用促進について
3. その他（情報発信のあり方、PR 等について）
 - ・夕張川ガイドブックの説明

<主な意見>※（ ）の記載が無い場合は、夕張川流域会議メンバーの発言

1. 河川環境、河川利用に配慮した川づくりについて

（今年度の魚類調査結果：妹尾氏からの補足報告）

・夕張川の清幌床止めでは、下流の拡幅により水が自由に動くようになり、ヤツメの産卵床が約 2 倍に増加した。サケ等の産卵適地も増え、環境学習等でも利用しやすい場になった。また、今年度の魚類調査では主に汽水域に生息しているメナダ、マハゼが初めて確認された。

・石狩川ではヤツメウナギが激減しヤツメ漁ができないが、水が動いている場所を調査すると幼生が確認できる。このまま推移すればヤツメは復活するかもしれない。また、河岸掘削と浚渫後にヤツメ資源の急激に減少した時期があり、河岸環境に工事の影響があったと考えられる。

・夕張川の河道掘削工事は、湿原の名残りのある場所等を利用し、流水の分散域や砂泥の堆砂水域の造成を考えたい。川の流れの営力で入江ができれば、生物が利用するようになり、年月と共に川の景観、やがて川の風景になる。100 年単位で環境をつくっていく思想

が大切である。

2. 地域団体との連携について

(河川樹木の公募による伐採利用促進について)

- ・河川樹木伐採は通水能力確保のための伐採だが、再樹林化するので再度伐採が必要になる。伐採を繰り返す管理ではなく、河道掘削を行うことで樹木管理する方法がいいのではないか。
- ・バイオマス燃料ありきの樹林管理では川が劣化することにならないか。河道計画を優先させて川づくりを考えたい。
- ・今の夕張川の低水路は、水を流す機能は発揮できているが、他の川としての機能は失われている。夕張川には、生物の生息場や人の河川利用などが様々な機能が求められていると思う。水が安全に流れる川づくりだけでなく、生態系保全のできる川づくり、川の機能が充実する川づくりも合わせて考えたい。

→ショウドウツバメ営巣地对岸のように河岸掘削含めた樹木伐採のイメージで良いだろうか。河道づくりと樹木伐採をできる場所を次回提示したい。(江別河川事務所)

- ・樹木伐採は、治水と環境とのバランスを考えた配慮が大切である。まずは実験的に伐採し、モニタリングしていくと良いのではないか。
- ・低水路部分は、伐採だけでなく必要があれば掘削すべきである。

→公募伐採の対象地は、高水敷だけで河岸部や低水路は作業場危険があり、想定していなかった。(江別河川事務所)

→6月頃に予定している現地見学会で視察しながら意見をお聞きし、必要に応じて公募伐採を見直したい。現地意見交換会までに環境調査結果を整理する。(江別河川事務所)

- ・高速道路の上下流の掘削地は、既に樹林化している。上流の掘削工事は下流の工事の反省が活かされていない。

→工事後の掘削地は経過観察をして掘削地に表土を戻している。敢えて草を繁茂させ樹林化を防いでいる。(江別河川事務所)

3. その他（情報発信のあり方、PR等について）

(イベント、活動のお知らせ：夕張川自然再生協議会より)

- ・4月5日にサケ稚魚放流会を予定しているので、機会があれば是非参加して欲しい。放流するサケの稚魚は、企業、団体等にサケの里親として協力してもらっている。里親へは協議会から水槽、ポンプ、サケの受精卵を提供している。
- ・栗山町では、ネイチャーポジティブ宣言を行い、デジタル地域ポイントカードを導入している。このポイントカードで買い物して貯まったポイントを次の買い物や活動寄付に利用できる。スマートフォンで買い物も活動寄付もできるので、是非協力をお願いした

い。

（魚類の生息状況と川づくりについて）

- ・栗沢頭首工の魚道は、河川整備計画の中で「生き物が豊かな川づくり」をするという観点で整備したので、長沼頭首工の魚道も整備計画の一環で進めてほしい。
- ・長沼頭首工の魚道整備は、栗沢頭首工の河床低下問題と合わせて、簡易魚道も含めて検討したい。魚道整備のための上流の調査を検討してほしい。
- ・雨煙別川のかわまちづくりは、雨煙別学校付近の整備までまだ数年かかる。学校付近でサケ等が産卵できるような川づくりに地域で挑戦したい。
- ・夕張川ではサケが産卵しているが、泥が溜まり孵化、浮上できていない。低水路の中で水が動き地形が変わるような川であれば、サケをはじめとした様々な生き物が生息できる。砂利を堆積させ、その中を湧水が流れていくような断面計画が必要である。
- ・夕張川ではサクラマスは相当数遡上しているが、雨煙別川支川の高橋の沢だけで孵化、浮上している。
- ・この流域会議は、生態系保全も含めた河川整備の話をする場でもある。川の機能を踏まえた河道計画、河積阻害の対策を考えたい。
- ・栗山青年会議所は夕張川自然再生協議会と連携して雨煙別川で河川清掃を行っている。清掃活動を継続して、夕張川の自然を豊かにしていきたい。
- ・水害を体験した下流側の市民はどうしても治水に関心が偏る。上流側の栗山町で実施されているネイチャーポジティブ宣言等の取組みに敬服している。カワヤツメの生息環境が改善されれば下流側の市民の環境への関心が高まると思う。

以上

＜参加者リスト＞

No.	分野	氏名	所属
1	行 政	正国 之弘	江別河川事務所長
2	〃	田中 和浩	夕張川ダム総合管理事務所長
3	〃（江別市）	西山 健太郎	建設部 土木事務所治水課 課長
4	〃（南幌町）	黒島 滋規	都市整備課 課長
5	〃（栗山町）	本田 徹	建設課 主幹
6	〃（北海道）	佐々木 英幸	空知総合振興局札幌建設管理部 長沼出張所 所長
7	〃（北海道）	工藤 利忠	空知総合振興局 札幌建設管理部 岩見沢出張所 所長
8	〃（北海道）	高村 裕二	空知総合振興局 札幌建設管理部 岩見沢出張所 主査(治水第二)
9	環 境	妹尾 優二	流域生態研究所長
10	環 境	諸橋 淳	「おっ鳥クラブ」（NPO 法人雨煙別学校）
11	〃	高橋 慎	栗山町ハザンベツ里山計画 実行委員会 実行委員長 （NPOくりやま 事務局長）
12	〃	西岡 政則	一般社団法人 栗山青年会議所
13	〃	土井 猛	夕張川自然再生協議会 事務局長